

# 図書館通信



豊かな時間を図書館で

平成30年

6



月号

第447号 (第37巻第3号)

## 【目次】

P 1	書評貼付の取組紹介	P 6	図書館職員コラム
P 2	映画会と行事	P 7	わたしのおすすめ本
P 3	おはなし会と企画展	P 8-11	新着図書案内
P 4	事業報告	P 12	今月のカレンダーと 図書館施設のご案内
P 5	アーニス分館だより		

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail [toshokan@city.noboribetsu.lg.jp](mailto:toshokan@city.noboribetsu.lg.jp)

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

## 「蔵書に書評を貼っている図書館」～登別市立図書館だけの取り組み～

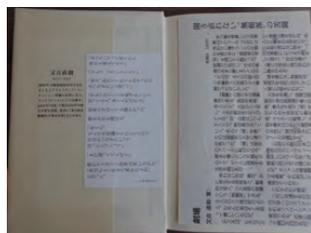
登別市立図書館では、昭和50年ごろから40年以上の長きにわたり、図書館の資料に、新聞や雑誌の書評の貼り付けを行っています。

新聞5紙と主要雑誌の書評をはじめ、受賞記事や著者の近況・訃報など、対象本にまつわる記事を探して本に貼っています。

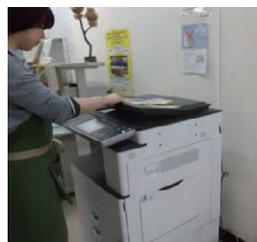
来館された図書館関係の方々から、「こうした取り組みをしている図書館は初めてです」とよく言われます。また、図書館関係の大会や集会で、「蔵書に書評を貼っている図書館」「読書の世界を広げる、図書館の地道な努力」と、この登別市立図書館の取り組みが紹介されたこともあります。

利用者の皆さまからも、「本に貼ってある書評が大変参考になります」「ご苦労でしょうが助かります」「作業を厭わずこれからも続けてください」などの投書やお手紙、お褒めの言葉をいくつも頂戴しています。ありがとうございます。

40年以上連綿と受け継がれてきた、この登別市立図書館独自の取り組み。「登別市立図書館の伝統」として今後も頑張って続けてまいります。



※左側が本の帯、右側が書評のコピーをそれぞれ貼り付けたものです。



※職員がほぼ毎日、新聞や雑誌の書評等をコピーしています。

# 行事のお知らせ

## 毎月恒例！映画会



**こども映画会**

アニメ 貝子公物語 (18分)  
アニメ ASTRO BOY 映画アニメ (24分)

入場無料！  
どなたでも  
ご覧になれます。

日：6月2日(土) 午前10時30分～  
ばしょ：としょかん3F かいせしつ



**名画鑑賞会**

～生き抜く  
南三陸町の人々の一年～  
ドキュメンタリー映画 (99分)

6月2日(土) 午後1時30分より  
場所：図書館3階 会議室  
入場無料 どなたでもご覧いただけます！

## 今月のスペシャルイベント



### 第24回

本を通して人を知る・人を通して本を知る

本と人、人と人を繋ぐ『ビブリオバトル』  
登別図書館のビブリオバトル第28弾です。  
お茶を飲みながら、  
お気に入りの本の紹介を楽しみましょう！

- 日時 6月14日(木) 午後6時～7時30分  
場所 登別市立図書館 3階会議室  
対象 どなたでも参加できます。  
はじめにルールをご説明してから始めますので、  
ビブリオバトルを体験したい方もぜひご参加ください。  
観戦だけの方も歓迎いたします。  
申込 不要。直接会場にお越しください。参加費無料。  
持物 お気に入りの本を各自1冊持参してください。  
共催 いぶりびよりぷ♪松田靖子さん  
※登別図書館では、隔月でビブリオバトルを開催しています。  
主催・お問い合わせ 登別市立図書館 ☎85-4324



アイヌ文化講座  
**知里幸恵・その愛**

彼女の生涯と、秘められた  
想いを紐解く・・・。

「アイヌ神話集」を著し、  
十九歳で早世した知里幸恵。

講師 アイヌ文化活動アドバイザー  
富樫利一氏

日時 平成30年6月16日(土)  
13:30～15:00

会場 登別市立図書館 3階 会議室  
(登別市中央町5丁目21-1)

参加無料・申込不要

主催・お問い合わせ 登別市立図書館  
電話 0143(85)4324

※本講座は、公益財団法人アイヌ民族文化財団のアドバイザー派遣事業により実施しています。

## おはなし会

### えほんのへやのおはなしかい

図書館の職員が絵本や紙芝居の読み聞かせをします。

日時 6月 9日(土) 午後2時～

場所 図書館1階 えほんのへや

※今月は、父の日に合わせて「おとうさんのおはなし会」を行います。



### おはなしぽけっと

絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなどを行います。

日時 6月23日(土) 午後1時30分～

場所 図書館1階 えほんのへや

\*日時や内容が変更・中止になる場合があります。ホームページや広報にてご確認ください。

## ロビー展示

### きれいな花見つけた!

6月はたくさんの花が咲く季節です。

花言葉や園芸、写真集など花に関する本の展示を行います。

**展示期間** 平成30年6月8日(金)～6月28日(木)

**展示場所** 図書館1階 ロビー



## お知らせ

全国で広がっている「家読」運動の提唱者である佐川二亮氏より、本市が策定した『登別市立図書館のめざすもの』を「家読推進プロジェクトで紹介しました」とのご連絡を頂きました。同プロジェクトHPの「新しい図書館像をめざして」に掲載されました。

「家読推進プロジェクト」URL <http://uchidoku.com/>

## 事業報告

### 堀川真さんの原画展とワークショップ

5月12日（土）「こどもの読書週間」の事業として名寄市在住の絵本作家 堀川真さんをお迎えしてワークショップを行いました。

4月28日（土）より図書館1階のロビーでは「もりのやきゆうちーむ ふぁいたーず」（北海道新聞社）の原画ならびに北海道日本ハムファイターズ選手のサインの展示が行われ、多くの方が足をとめ、スマートフォンなどで撮影を行っていました。

カトリック幼稚園のみなさんも会場を訪れ、原画と絵本を見比べたり、お気に入りの選手の似顔絵に声をあげて楽しんでいました。

ワークショップ当日は、堀川先生みずから絵本の読み聞かせを行い、「ふぁいたーずの絵本はシーズンオフに発行されるため、移籍した選手は絵本から消えてしまう」などの制作秘話もあかしてくれました。

また、会場に来てくれたこどもたちの似顔絵を即興で描いていただき「登別ちーむ」を結成したり、みんなで工作を行いました。工作では、割りばしや洗濯バサミ、綿棒など身近な品を使って折り紙ロケットや風車などを作り、飛ばしてみると思いのほかよく飛ぶロケットにこどもたちばかりか、おかあさんたちも歓声をあげていました。

楽しい一日をプレゼントしてくださった堀川先生、ありがとうございました。



#### 「登別ちーむ」

5月12日（土）12名のこどもたちとゴリラ（中田）選手・キリン（大谷）選手で結成。

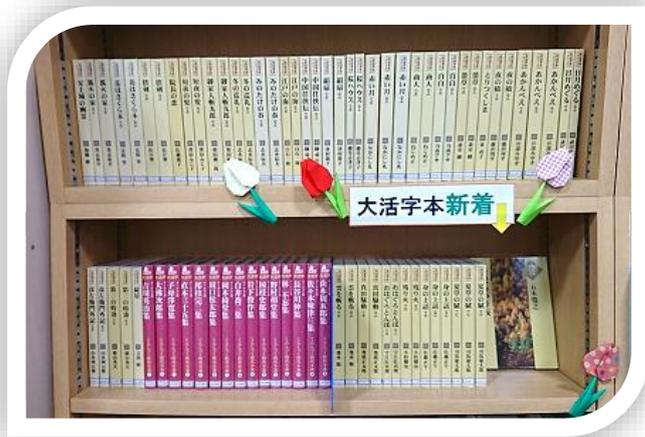
児童室に掲示していますので、どうぞご覧ください。



# アーニス分館だより

## アーニス分館では

- \* 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- \* DVDを視聴できます。
- \* 雑誌は最新号の一夜貸しも行っています。
- \* 見やすい大活字本もあります。
- \* 貸出が済んだ本は、アーニス分館入口前の「お休み処」で読む事が出来ます。



## 新着図書コーナーが新しくなりました



“新着図書コーナー”を多くの方へご覧頂けるように、館内のカウンター周りを模様替えしました。

入館すると目の前に“新着図書コーナー”とその隣に“今月のおすすめ本”があります。

小さな赤い椅子もご用意しましたので、是非手に取ってご覧下さい。



## 《新刊おすすめ本紹介》

こんにちは！ シャンシャン 高氏貴博 著／宝島社



昨年の6月、上野動物園に5年ぶりに誕生したジャイアントパンダのシャンシャン。その誕生から7カ月の一般公開までの成長を、豊富なカラー写真とともに紹介。かわいいパンダ写真の撮り方、パンダに関する知識や、ぬまがさわたりさんのイラスト図解なども収録。

上野パンダウォッチャーな著者による本です。ふわふわでピンクがかったシャンシャンはもちろん、お母さんのシンシンやお父さんのリーリーもたっぷり楽しめます♪

## 家庭内司書奮闘中！

登別市立図書館で働き始めて5年目になりました。児童室の担当を経て一般書の担当は3年目です。以前は本とは全く関係のない仕事をしていたため、初めは人気作家の名前もわからず四苦八苦していましたが最近ようやく少しは慣れてきたかな、と思えるようになりました。

私が働き始める前は図書館を利用していなかった家族も、本を借りるようになり家庭でも本に関する会話が増え、その中で「なにか面白い本を借りてきて」と頼まれるようになりました。漠然と面白い本といっても個人の好みがあります。池波正太郎や藤沢周平を読んでいたことは知っていたので時代小説がいいかと思い借りていき、感想を聞くと「うーん…まあまあ」といまいちな評価です。それではこれならどうだと、また別の本を借りていき感想を聞くと「これはこれで面白いんだろうけど…」とまたしてもいまいちな評価です。

よく借りられている人気の時代小説を選んで借りていたのですが、あまり好みに合わないようなので、よくよくどんな本が好きなのかを聞いてみると

- ・時代は戦国時代から江戸時代が好き。  
明治時代でもいいけれど、幕末ものはあまり好きじゃない。
- ・戦国時代のものでも武将が戦場で大活躍するようなものより智略、戦略をくりひろげるものが好き。
- ・実在の史実にアレンジを加えすぎてリアリティがなさすぎるものはあまり好きじゃない。
- ・だけど史実に忠実すぎるのも小説を読んでいる感じがなくて好きじゃない。
- ・人情ものはあまり好きじゃない。

などなど、どんどん好みが出てきます。

うーん…手ごわい！

借りていった本の中で好評価をもらえたものもありますが「これは面白かった！」と満点をもらえたものが未だありません。

最近では満足いく本を用意できていないせいか、私が借りていく本を待たずに本人が図書館に来て選んでいくようになりました。普段カウンターで問い合わせを頂き、お話を伺う時間の何倍も聞き取りをしているにも関わらず、満足のいく本を用意できないのは図書館職員としてはかなり悔しいです。

いつか満足のいく本を用意できるように、また図書館での仕事に活かせるように家庭内司書の仕事も頑張ります！

\*あくまでも個人の好みです。

面白い時代小説はたくさんあります！



### 「お面屋たまよし」 石川 宏千花／著 平沢 下戸／画 講談社



#### <あらすじ>

同じ日に天狗に拾われた太良と甘築は、育ての親である面作師のもとで修行を積み、祭りを渡り歩く。裏屋号「摩縁堂」で売るのは、なりた姿になれる「妖面」。しかし、面をはずせなくなり荒魂化してしまうとふたりの手で「浄化」しなければならない。荒魂化を知らせる魔縁丸が鳴り響く中、狐の面をつけ少年たちは走る。

以前、ビブリオバトル（図書館で偶数月の木曜日に行われています）でもとりあげた、私の一推しのYA（ヤングアダルト＝児童書と一般書の間あたる文学）「お面屋たまよし」。

この物語には、ふたつの側面があると思います。

ひとつは、同じ日に天狗に拾われ面作師に育てられたふたりの少年のロードムービー的な物語。

ふたりが裏屋号「魔縁堂」で売る「自分の望む姿になれる面」は、心を囚われてしまうと「荒魂化」（人ではなくなる状態）してしまいます。面を売るふたりは、その魂を鎮めるため「浄化」という粛清を行う責を負っています。そんな運命を受け入れ、成長していく少年たちをお鶴さん（シリーズ3作目の不穏ノ祭：「波紋の行方」をご参照ください）と同じ気持ちで、毎回、私も見守っています。

もうひとつの側面は、魅力にあふれたファンタジーであるということ。「今の自分と違う顔になってみたい」という願いは、誰しも一度は抱いたことがあるのではないのでしょうか？

でも、面をつけることで自分の気付かない心の奥底を揺さぶられたら？ 作品では、純粹に面に興味がある人、無意識の虚無を抱えている人、望んで「荒魂化」していく人・・・様々な人々が妖面を求めてやってきます。

**「あなたは、この面を手に入れてみたいですか？」**

## 郷土資料紹介

### 「クッタラ湖伝説」 田村 ゆか／著 北海道教育社

ある日、電話で書名がわからないが探しているという本の依頼を受けました。曰く、

- ・アイヌの民話または童話かもしれない。
- ・クッタラ湖に棲んでいるイルカが、地下水路を通過して海（太平洋？）に行く物語だったと思う。
- ・ハガキより縦長のうすい本だった気がする。



図書館の主要な業務に、レファレンスワークがあります。「参考業務」などと呼ばれる調査を主体とする業務で、今回のように依頼される方の記憶などから該当する本を探すこともそのひとつです。

書名にクッタラ湖が入っていればいいな・・・と願いながら検索すると「クッタラ湖伝説」という本が郷土資料室にありました。サイズは、18×11cm。クッタラ湖もイルカもバッチリ出てくる。ご連絡すると、この本で間違いなしとのこと。無事、ご利用いただくことができました。

本が当館にない場合は、しばらくお時間をいただきますが他館から取り寄せることもできますのでぜひ、問い合わせしてみてください。

ちなみにこの作品は、作者が友人と訪れたクッタラ湖をみて思いついたという、イルカに守られていた人魚と“顔がいい”青年のバリバリの恋愛ファンタジーでした。

# 新 着 図 書 案 内 平成30年6月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
0 総記		一度は観たい日本の花風景	昭文社
前川恒雄と滋賀県立図書館の時代	田井 郁久雄	一度は観たい春を彩る桜の名所	昭文社
BOOK BAR お好みの本、あります。	杏 大倉 眞一郎	グッバイ、レニングラード	小林 文乃
デザインの作法 本は明るいおもちゃである	松田 行正	3 政治・経済・社会・教育	
周作人読書雑記 2	周 作人	● 炎と怒り トランプ政権の内幕	マイケル・ウォルフ
記者襲撃 赤報隊事件30年目の真実	樋田 毅	ベルルスコーニの時代 崩れゆくイタリア政治	村上 信一郎
● 絶景本棚	本の雑誌編集部	金正恩 狂気と孤独の独裁者のすべて	五味 洋治
Excel完全ガイド	門脇 香奈子	立憲君主制の現在	君塚 直隆
1 哲学・宗教		世界の選挙制度	大林 啓吾
ほどよく距離を置きなさい 90歳の現役弁護士が見つけた心の糸のほどき方。	湯川 久子	ジハード大陸 「テロ最前線」のアフリカに行く	服部 正法
創価学会秘史	高橋 篤史	アイヌ民族法制と憲法	中村 睦男
● 潜伏キリシタンは何を信じていたのか	宮崎 賢太郎	平和をつくるを仕事にする	鬼丸 昌也
人生を変える断捨離	やました ひでこ	すぐに役立つ図解とQ&Aでわかる金銭貸借・クレジット・ローン・保証の法律とトラブル解決法128	松岡 慶子 監修
このお守りがすごい!	中津川 昌弘	● 日報隠蔽 南スーダンで自衛隊は何を見たのか	布施 祐仁
悲しみの処方箋	主婦の友社	経済数学入門の入門	田中 久稔
没頭力	吉田 尚記	年表とトピックでいまを読み解く ニッポン戦後経済史	坂井 豊貴
ライトアップ夜の神社・お寺めぐり	G. B.	デービッド・アトキンソン新・生産性立国論	デービッド・アトキンソン
2 歴史・地理		官僚たちのアベノミクス	軽部 謙介
● 極夜行	角幡 唯介	海を渡った鯨組の子孫たち	土屋 康夫
● ナチズムに囚われた子どもたち 上・下	リン・H. ニコラス	3つのゼロの世界 貧困0・失業0・CO2排出0の新たな経済	ムハマド・ユヌス
帝国の最期の日々 上・下	パトリス・ゲニフェイ	リーマン・ショック 元財務官の回想録	篠原 尚之
47都道府県・遺跡百科	石神 裕之	● ある金融マンの回顧 拓銀破綻と営業譲渡	高向 巖
0から学ぶ「日本史」講義 古代篇	出口 治明	くらべる世界	おかべ たかし
織田家臣団の謎	菊地 浩之	職場のハラスメント	大和田 敢太
英国公文書の世界史	小林 恭子	大丈夫、働けます。	成澤 俊輔
パリとカフェの歴史	ジェラルド・ルタイユール	● 母の家がごみ屋敷	工藤 哲
図説呪われたパリの歴史	ベン・ハーバード	サハリンを忘れない	後藤 悠樹 文・写真
日本人のおなまえっ! 2	NHK「日本人のおなまえっ!」制作班	チェルノブイリという経験	尾松 亮
● 『蝶々夫人』と日露戦争	萩谷 由喜子	誰も書かなかった老人ホーム	小嶋 勝利
ナポレオン 最後の専制君主、最初の近代政治家	杉本 淑彦	津波災害 増補版 減災社会を築く	河田 恵昭
幕末の女医楠本イネ シーボルトの娘と家族の肖像	宇神 幸男	通信制高校があるじゃん! 2018~2019年版	学びリンク
サハリンに残された日本	斉藤 マサヨシ	醤油	吉田 元
中東欧の文化遺産への招待	四方田 雅史	学年誌が伝えた子ども文化史 昭和40~49年編	小学館

# 新着図書案内 平成30年6月 No.2

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
● 遊びの四季 ふるさとの伝承遊戯考	かこ さとし	5 技術・工業・家事	
人を楽にしてくれる国・日本 韓国人による日韓比較論	シンシアリー	「石油」の終わり エネルギー大転換	松尾 博文
日本で1日に起きていることを 調べてみた	宇田川 勝司	トコトンやさしいトンネルの本	土門 剛
3男1女東大理Ⅲ合格百発百中絶対やる べき勉強法	佐藤 亮子	知られざる地下街	廣井 悠
アウトドア育脳のすすめ	瀧 靖之	● 消滅遺産	ナショナル ジオグラフィック アントニー・ ラッドフォード
4 自然科学・医学		名作モダン建築の解剖図鑑	山田 佳世子
● 疑惑の科学者たち	ジル・ アルプティアン	図説英国の住宅	久保田 慎
〈どんでん返し〉の科学史 蘇る錬金術、天動説、自然発生説	小山 慶太	コンタクトレンズと眼鏡の科学	オリヴィア・ コスキー
世界がわかる地理学入門	水野 一晴	太陽系観光旅行読本	五十嵐 泰正
オーロラの話をしましよう	赤祖父 俊一	原発事故と「食」	西澤 丞
日本気候百科	日下 博幸	福島第一廃炉の記録	ジャン＝パティスト ・マレ
日本の山と海岸	島津 光夫	● トマト缶の黒い真実	佐野 洋子
トコトンやさしい地質の本	藤原 治	● 佐野洋子の「なに食ってんだ」	上原 まり子
大人の恐竜図鑑	北村 雄一	グルテンフリーなベジつまみ	荻野 恭子
絵でわかる進化のしくみ	山田 俊弘	ポリ袋で作ろう！餃子、めん、パンを	宮本 まき子 監修
動物はいつから眠るようになったのか？	大島 靖美	孫ができたらずまず読む本	日本のレトロ コスメ研究会
● 絶滅危惧の地味な虫たち	小松 貴	日本のレトロコスメ	G. B.
鳥！驚異の知能	ジェニファー・ アッカーマン	無印良品の文房具。	西村 泰紀
絶景・秘境に息づく世界で一番美しいク ラ&イルカ図鑑	水口 博也	痛い靴がラクに歩ける靴になる	ブング・ジャム
闇に魅入られた科学者たち	NHK「フランケンシュタ インの誘惑」制作班	この10年でいちばん重要な文房具はこれ だ決定会議	shoko
日本人の遺伝子	一石 英一郎	● ていねいなひとり暮らし	助川 睦子
● 女性のうつ病	野田 順子	3面構成で立体的に作る ワンピースドレス。	かわい きみ子
描かれた歯痛	リチャード・ バーネット	● タオルでつくりたいもの	帽子 千秋
「おいしさ」の科学	佐藤 成美	10の型紙で着回す毎日の服	ブティック社
健康という病	五木 寛之	ハギレで作るかわいい布こもの	平野 孝子
法医学事件簿	上野 正彦	今さら聞けない手芸の基礎がよくわか る！はじめての針しごと	下田 直子
サンプリングって何だろう	廣瀬 雅代	下田直子手芸のイデー	朝倉 史
世界を救った日本の薬	塚崎 朝子	針と糸なしで「ボンド」で貼って作る バッグとこもの	ワタナベ マキ
家の中のすごい生きもの図鑑	久留飛 克明	今日も、明日も、週末もいつもの素材で作 る持ちよごはん	井上 かなえ
臨終の謎	志賀 貢	てんきち母ちゃんのあるものだけで 10分作りおき	井上 岳久
国立がん研究センターのこころと 苦痛の本	清水 研 監修	親子で楽しむおとう飯カレー	上田 淳子
最新子宮がん・卵巣がん治療	加藤 友康 監修	冷たいフライパンに食材を入れてから火に かけるコールドスタート	若松 加寿江
● こんにちは！シャンシャン	高氏 貴博	そこで液状化が起きる理由(わけ)	

# 新着図書案内 平成30年6月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
<b>5 技術・工業・家事</b>		ミュシャ パリの華、スラヴの魂	小野 尚子
● たべもの九十九	高山 なおみ	イチから知りたい! 楽典の教科書	春畑 セロリ共著
農家が教える梅づくし	農文協	美しく、狂おしく 岩下志麻の女優道	岩下 志麻
まいにち食べたいサラダごはん	学研プラス	● 父・横山やすし伝説	木村 一八
飛田和緒の朝にらくする春夏秋冬のお弁当	飛田 和緒	● 夢を生きる	羽生 結弦
ラクラク作れて、男子も女子も喜ぶ! 中高生の大満足弁当300 決定版!	上島 亜紀	ばんえい競馬 砂の軌跡	太田 宏昭
身のまわりのすごい技術大百科	涌井 良幸	大相撲語辞典	福家 聡子
Instagram 使い方&楽しみ方が全部わかる!	リンクアップ	● 永世七冠羽生善治	羽生 善治
料理用あま酒、はじめました。	舘野 真知子	Veritecoの草木染め	Veriteco
赤ちゃんが夜早く、長く眠るかんたん☆ねんねトレーニングBOOK	伊藤 かよこ	デザインあ みるほん	NHK「デザインあ」制作チーム編
<b>6 産業・商業</b>		愛の大売り出し	美輪 明宏
北海道/地域産業と中小企業の未来	関 満博	もういちどあなたへ 追憶高倉健	石飛 徳樹
深夜のラジオっ子	村上 謙三久	高峰秀子と十二人の女たち	高峰 秀子
犬房女子 犬猫殺処分施設で働くということ	藤崎 童士	フィットネスジム徹底活用マニュアル	成美堂出版 編集部
地元経済を創りなおす	枝廣 淳子	● 大谷翔平挑戦	岩手日報社
樹木の名前 和名の由来と見分け方	高橋 勝雄	みんな葛西が大好きだ!	岡崎 敏
● 高齢ドライバー	所 正文	未完の巡礼 冒険者たちへのオマージュ	神長 幹雄
港の日本史	吉田 秀樹	贈る・飾る・使う折り紙の箱と小物	丹羽 兌子
育てて楽しむウメ百科	三輪 正幸	成田屋のおくりもの	堀越 希実子
超図解野菜の仕立て方の裏ワザ	『やさい畑』 菜園クラブ	<b>8 言語</b>	
トップも知らない星野リゾート	前田 はるみ	いつも日本語で悩んでいます	朝日新聞 校閲センター
もっともくわしい植物の病害虫百科 改訂版	根本 久 監修	簡潔で心揺さぶる文章作法	島田 雅彦
熱帯魚・水草選びからはじめる アクアリウム	千田 義洋 監修	<b>913 日本の小説</b>	
ときめくラン図鑑	清水 柁孝	● アンダーカバー 秘録・公安調査庁	麻生 幾
ときめく多肉植物図鑑	TOKIIRO	わたしの忘れ物	乾 ルカ
● 鉄道写真が語る昭和	「旅と鉄道」編集部	僕と彼女の左手	辻堂 ゆめ
<b>7 芸術・スポーツ</b>		レッドリスト	安生 正
ゼロから分かる! 図解落語入門	稲田 和浩	イザベルに薔薇を	伊集院 静
● 義足でダンス	エイミー・パーディ	● スタア誕生	金井 美恵子
● 百貨店の展覧会 昭和のみせもの1945-1988	志賀 健二郎	● そして、バトンは渡された	瀬尾 まいこ
ヴァージニア・リー・パトンの世界	ギャラリー エークウッド	額を紡ぐひと	谷 瑞恵
日本の装飾と文様	海野 弘 解説・監修	● 樽とタタン	中島 京子
野武士のグルメ 漫画版 3rd	久住 昌之	さよなら、わるい夢たち	森 晶麿

# 新 着 図 書 案 内 平 成 30 年 6 月 No.4

書 名	著 者	書 名	著 者
老侍	吉川 永青	● 青くて痛くて脆い	住野 よる
江國香織童話集	江國 香織	シャーロック・ホームズたちの新冒険	田中 啓文
龍の耳を君に デフ・ヴォイス新章	丸山 正樹	虚像のアラベスク	深水 黎一郎
ハーディ 上・下	真山 仁	ミライミライ	古川 日出男
超動く家にて	宮内 悠介	● 水田マリのわだかまり	宮崎 誉子
完パケ!	額賀 滯	● 伴走者	浅生 鴨
● 長く高い壁	浅田 次郎	● ぼくがきみを殺すまで	あさの あつこ
● 私はあなたの記憶のなかに	角田 光代	天龍院亜希子の日記	安壇 美緒
虚談	京極 夏彦	怪盗不思議紳士	我孫子 武丸
卑弥呼の葬祭 天照暗殺	高田 崇史	私小説	市川 拓司
● クローゼット	千早 茜	大人になったら、	畑野 智美
● おまじない	西 加奈子	安土唐獅子画狂伝 狩野永徳	谷津 矢車
穢れ舌	原 宏一	Q&A	小林 大輝
それまでの明日	原 奈	西から来た死体 錦川鉄道殺人事件	西村 京太郎
本のエンドロール	安藤 祐介	十津川警部九州観光列車の罟	西村 京太郎
● 死の島	小池 真理子	日本遺産に消えた女	西村 京太郎
● スイート・ホーム	原田 マハ	9 その他の文学	
鍬ヶ崎心中	平谷 美樹	忘れられたベストセラー作家	小谷野 敦
奏弾室	仁木 英之	源氏物語の教え	大塚 ひかり
● 雪割草	横溝 正史	ご機嫌な習慣	松浦 弥太郎
● 地検のS	伊兼 源太郎	● ほどほど快適生活百科	群 ようこ
修羅の都	伊東 潤	恨みっこなしの老後	橋田 壽賀子
一身二生 吉宗の遺言	太田 俊明	● 極小農園日記	荻原 浩
身代わり忠臣蔵	土橋 章宏	最後まで、あるがまま行く	日野原 重明
異常探偵宇宙船	前田 司郎	あまりにも真昼の恋愛	キム グミ
駒子さんは出世なんてしなかった	碧野 圭	● オリジン 上・下	ダン・ブラウン
月の炎	板倉 俊之	● 昏い水	マーガレット・ドラブル
罪の名前	木原 音瀬	家族戦争 うちよりひどい家はない!?	西舘 好子
いのちがけ 加賀百万石の礎	砂原 浩太郎	あるいて行くとぶつかるんだ	椎名 誠
愛を乞う皿	田中 経一	酒の渚	さだ まさし
首都圏大震災	牧野 武則	● 上を向いてアルコール	小田嶋 隆
かちがらす 幕末を読みきった男	植松 三十里	コータリンは要介護5	神足 裕司
兵	木下 昌輝	ポケットのなかの天使	デイヴィッド・アーモンド

# 平成30年 6月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 映画会
3	4 本館休館	5	6	7 分館休館 ブックスタート	8	9 えほんのへやのおはなし会
10	11 本館休館	12	13	14 分館休館 ビブリオバトル	15	16 アイヌ文化講座
17	18 本館休館	19	20	21 分館休館	22	23 おはなしぽけっと
24	25 本館休館	26	27 ライブラリー スタート おはなし会	28 分館休館	29 図書整理日 本館休館 分館休館	30

## 図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷲別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷲別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年末年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00～18:00 (木曜のみ19:30)	10:00～20:00	9:00～18:00 (昼休みあり)	9:00～17:30 土日祝 17:00	9:00～15:00